

こんにちは!!

和4年10月

やまがたむら麗宝です



第3回議会定例会2	一般質問の要約4~6
令和3年度決算報告3	議会改革7
第3回議会臨時会3	議会日誌7
第 4 回議会臨時会3	私の一言8
《議会の議決を経ない契約の締結》	



令和4年9月29日(木曜日)

晴天のもと、山形保育園の運動会が行なわれました。 コロナ禍で各種イベントが中止となる中、こども達 の明るく楽しい歓声に心が和みました。

みんながんばった

発行:長野県山形村議会(代表)百瀬 章 編集:議会広報編集特別委員会

TEL.0263-98-3111

山形村ホームページ https://www.vill.yamagata.nagano.jp/



またまた、

新型コロナウイルスに

翻弄された夏



第3回山形和議会定例会

を審議し、全議案を全会一致で可決した。 意1件、認定7件、請願3件、議案6件) 6日開会し、20日までの15日間開催された。 令和4年度決算認定など(報告1件、同 令和4年第3回山形村議会定例会が9月

報 告

○令和3年度決算に基づく健全化判断比率及 び 資金不足比率の報告について

認 定

- 令和3年 定について 度 山形村一 般会計歲入歲出決算認
-)令和3年度山形村国民健康保険特別会計歳 入歳出決算認定について
-)令和3年度山形村後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定について
-)令和3年度山形村介護保険特別会計歳入歳
- ○令和3年度山形村清水高原簡易水道特別会出決算認定について 計歳入歳出決算認定について
- ついて)令和3年度山形村水道事業会計決算認定に
- 令和3年度山形村下水道事業会計決算認定

議

)令和3年度山形村水道事業会計剰余金 分について 0) 処

)職員の育児休業等に関する条例の一 正する条例について 部を改

加し、総額を40億3千92万2千円とするも歳入歳出総額に1億9千75万6千円を追)令和4年度一般会計補正予算(第4号)

O

)令和4年度山形村国民健康保険特別会計補 正予算 (第2号)

)令和4年度山形村介護保険特別会計: (第2号) 補正 予

)令和4年度山形村清水高原簡易水道特別会 補正予算 (第2号)

補正予算の主な事業

託料○新型コロナウイルス感染症殺菌消毒業務委修「転出転入ワンストップ化に伴うシステム改終務費

○地域活性化起業人負担 金 503 万 3 220 千円 円

)保健福祉センター関連工事 **民生費** 衛生費 154 万 円

)新型コロナウイルスワクチン接種関連費

○松くい虫被害対策緊急伐倒処理工事○農業人材力強化総合支援事業 48万2千円 ○農業人材力強化総合支援事業 **農林水産費**

193万6千円

○道路舗装補修整備等工事 **土木費**

300

万円

教育費

願

山形じゃんずら実行委員会費△218 万2千円

請

求める意見書」 「さらなる少人数学級推進と教育予算 義務教育費国庫負担制 採択を求める請願!庫負担制度の堅持 書 拡 充を Ó 増

長野県知事に求める請願書
支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を
支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を
額求める意見書」採択を求める請願書

それぞれ、 意見書を国・県に提出するも

意

○教育委員会委員の任命につき同意を求める ことについて 小林 正幸氏 (下大池

事の発注状況

○令和4年度防災行政無線整備事業

令和4年度舗装修繕工事 変電設備機器更新工事 令和4年度スカイランドきよみず自家用受6千820万円 など8件を発注。 845522 万 5 9 千 円

備品の 購入状況

額は9千25万4千88円。

令和4年度公用車など3件を購入。 総額は1千6万6千90円。

さらなる適正な予算執行を!!

2億7.654万円の黒字 -般会計決算 令和3年度-

-般会計歳出内訳

執行率 94.6%

令和4年

総務費	8億8,509万円	21.5%	土木費	4億2,487万円	10.3%
民 生 費	13億3,598万円	32.5%	消防費	1億3,916万円	3.4%
衛生費	3億6,430万円	8.8%	教 育 費	3億4,104万円	8.3%
農林水産費	1億7,300万円	4.2%	公 債 費	3億1,006万円	7.5%
商工費	5,812万円	1.4%	その他	8,527万円	2.1%

国民健康保険特別会計歳出	10億3,313万円	執行率 99.7%	
後期高齢者医療特別会計歳出	8,408万円	執行率 99.9%	
介護保険特別会計歳出	6億6,453万円	執行率 91.9%	
清水高原簡易水道特別会計歳出	1,654万円	執行率 94.6%	
水道事業会計 給水収益	1億8,204万円	給水人口 8,503人	
下水道事業会計 下水道使用料	1億5,739万円	水洗化人口 8,549人	

実質公債費比率 7.3% 前年比で0.1%上昇していますが基準値(25%)内 健全化判断比率 資金不足比率 2公営企業会計及び清水高原簡易水道特別会計において、資金不足なし

令和4年

○平成25年度庁内≧機器の買入れについて

議

額を38億4千10万円6千円とするもの。

令和2年度除雪ド

Ì

・ザの買入れの変更に

7

承

)令和4年度山形村一 般会計補正予算

号 7 歳入歳出総額に31万8千円を追加し、 の専決処分の承認を求めることについ 総

案

)防災行政無線整備工事の請負契約の締結に について

第3回山形村議会臨時会 (フ月21日開催) 認 (第 3

第4回山形村議会臨時会 8月19日開催 案

議

ついて議会の議決を求める。 を得ず契約を締結したため、 議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分 に関する条例第3条の規定による議会の議決 方自治法第96条第1項第8号及び議 以下の12議案に 会の

> ○平成30年度スカイランドきよみず備 ○平成30年度庁内≦機器の買入れについ ○平成29年度庁内≦機器 ○平成27年度庁内區 令和2年度除雪ドー ついて)令和2年度小型動力消防ポンプの買入れに)令和2年度庁内|||機器の買入れについて 令和元年度庁内以 入れについて 機器 ・ザの買入れについ の買 の買入れに の買入れに 入れに らい うい 9 41 品 E って

0)

買

当初の契約金額に自賠責保険料が含まれて ければならないものでしたが、 たため、それを除いた金額で契約し直すとの き議決しました。また、議案47号(●印) した。今回の臨時会で過去10年分の案件につ 超えており、 ことで議決しました。)令和4年度除雪ドーザの買入れにつ)令和3年度庁内IAI 以上の議案はいずれも予定価格が700 チェック不足で議案が上程されませんで 本来各年度で議会の議決を経な 機器の買入れについ 職員の認識 万円を いて 7 は、 不 3

すよう心がける所存です。 や条例を理解し、チェック機関の役割を果た るプロとして、このようなミスが無い います。また、議員においても改めて法令 職員各位には条例を熟知し、 職務に精通す ように

願

般質問

議員6人が

村 政 を 1

村長

賛否両論があったが、当面は現状を維持する

目立宣

言のその後と村長の考えは

が登壇、 感染防止の観点から質問時間は一人当た 般質問は9月8日に行なわれ議員6人 村政について質問を行なった。

> われた。 り4分に短縮、マスク着用・こまめな休憩 時間を挟み、 議場内の換気に配慮して行な

新た な自主防災組織の構築は

スピード感をもって実施していきたいと考えている



などして「防災のみ」に をグループ分けする 地図上で50世帯位

特化した組織の構築・支 え合いマップの作成など、

災害に強い村づくりをしてはどうか。

ていければと考えている。 50 10位の世帯を1グループとした組織にし 自体の数はそのままで、 現時点の構想ではあるが、自主防災会 1防災会の中を

ろん、 うことも考えている。それと同時に、「災害 きたいと考えている。 時住民支えあいマップ」についても進めてい 組織づくりにあたっては各区の区長はもち 地域へ出向き説明をし、 理解してもら

応・対策は。 防災に関して連絡班未加入世帯への対

世帯ある。 現在、連絡班に入っていない世帯が91 連絡班未加入世帯には、

A

依頼をしている。 ごと通知を出 したいと考えている。 い組織に参加し、協力してもらえるよう周 して訓練に参加してもらうよう 未加入世帯の方にも、



合 防災訓練

福澤倫治議員

行なっていけると思うか。 村1村として行政を で、これから加速化 全国全ての市町村 これからも山形

とは思うが、20年、 はないかと思う。 **5から10年位では、** する人口減少の時代を迎えている。これから 国全体の状況も大きく変わってくるので 30年先の未来予測となれ 現状と大きく変わらない

 \mathbf{Q} 7千円となっているが、その運用は。 26億2千97万円、定額運用基金は、7千85万 類される。 般会計の基金状況及び目的につい 積立基金、定額運用基金の2つに分 令和3年度末における積立基金は、 7

 \mathbf{Q} なるが基金条例に沿って行なっている。 基金ごとに積立、 村の基金条例及び地方財政法を遵守し 取り崩しの目的が異

基金残高か。 を行なって欲しい ていくのに十分な 行政を運営し て基金の運営



原材料高騰に苦労する農家への支援を

村単独の支援を現在は考えていない



高騰・原油価格の上 今現在、 原材料の

変苦労している。また、 昇や円安など、農家は大

上げが予定されてい るので早急な支援を考え 来春には資材・農薬の値

• • • • • •

•

• •

等の集金システムについて 連絡班へ委任の 「募金·寄付 金

一時代に合った、新しい協働の取組み議論が必要



種募金や寄付金の集金シ 繰り返される取組みのた ステムは、毎年定例的に 形式となっている各 絡班組織に委任

しかしながら、 加入世帯向けに、 なりつつある現実は放置できない。連絡班未 の 化が進捗する流れの中で、 行なっているか。 入世帯間での不公平感の鬱憤が増幅し、 地域福祉や義援・救援の精神が置き去りに 連絡班組織が近年著しく弱体 傾向が潮流で協力願っている。 募金・寄付金の拠出要請は 連絡班加入・未加 折 角

> 町村の動向を見ながら支援の必要性について 判断していきたいと考えている。 A 国やJAによる「肥料価格高騰対策事 活用を要請している。 今後、 県内市

何か。 \mathbf{Q} 後検討しなくてはいけないと思うことは 村の主力産業である農業に対して、今

るので、 る。 まずは農地の遊休荒廃地化が挙げられ 特に田 効率的な利用や活用方法について検 んぼや山際の農地が荒れてい

を A 定の期間を定めて掲示している。 玄関に広報誌と一緒に、 現在は、未加入世帯向けに公共施設の 募金等のチラシ

害が懸念されるが、対応は。 本来尊重されるべき「個人の自由意志」 \mathbf{Q} 会費化して拠出対応する流れが主流だが、 各連絡班、役員の負担軽減を考慮し、 の侵

である。 ぞれの連絡班の判断に任されているのが現状 しているが、その対応については、それ 周知文には任意のものであることを示

築を目指す協議会の推進を。 \mathbf{Q} 点検しながら、新たな集金システムの構 各種募金や寄付金の対応方針を今一 度

取組みが必要になると思う。 十分な議論をし、 係であることが望ましいのか、 地域とそこに住む住民が、 これからの時代、 時代に合った新し 私たちの住んでいる どのような関 地域住民との い協働の

> げられる。 る新たな協力体制づくりも検討課題として挙 討を進める必要がある。 ベテラン農家と若手農家の橋渡しができ 担い手育成や経営継

消防団活動をもっと村民に知らせるためには

描くなどしてはどうか。 Q 団詰所のシャッターにイラストや文章を 村民に関心を持ってもらうため、 消防

の助けとなってくれる存在である。 広報していきたいと考えている。 防犯パトロールにより自然災害や地震災 行方不明者の捜索など、有事の際に村民 今後分団長会などで話題にしていきた 消防団は火災だけでなく日頃の防



消防団詰所

ロナウイルス対策相談窓口の設置は

日常生活に影響が出れば必要がある



大池俊子議員

染者の実態は。 \mathbf{Q} 型コロナウイルス感 山形村における新

は全て県で集計して 把握している人数

令和4年8月31日までに80人の陽性者が判明令和2年2月26日に対策本部を設置して以降、 おり、 している。 その 中から村分を抽出した人数である。

\mathbf{Q} 感染した家族の状況や要望は。

十分な支援がされていると判断している。 の個別支援もできていないが、 ので把握できていない。また、感染者へ 家族の状況は、 情報を取得していな 国や県からの 貧

> \mathbf{Q} を実施している。 方が影響を受けていると判断し、 困家庭に影響が出 自宅療養者が急増する中で、 ているというより、 給付金事 健康観察 全ての 業

るか。 め細かな支援が必要であり、 『相談窓口』の設置が必要と思うがどう考え 医療との連携、 買い物や食料支援などき 分かりやすい

出れば、対策の必要がある。 その他、子どもの医療費18歳までの窓口無 置が発令され、日常生活に大きな影響が 今後も期間を定めた行動制限の要請措



交通弱者への取組みは

•

•

•

•

•

•

•

• •

•

•

要望に応えられるよう検討する移動に不便さや危険を感じる方々の



小出敏裕議員

福祉バスの利用状

況は。

ベ千83人増となり、 数は、 令和3年の利用者 平成30年に比 福祉

バスは高齢者の足として定着している。

 \mathbf{Q} ては。 停留所までの移動が大変との声につい

化も検討しているが課題も多くある。 れれば停留所外でも可能である。 A う設定している。 半径200メートル以内に停留所があるよ 降車は、 安全が確認さ 車両 0) 小型

 \mathbf{Q} ブレーキ装置取り付け助成の研究は。 高齢ドライバーの免許自主返納と安全

A があるので、 高齢者の移動手段について様々な意見 山形村公共交通活性化委員

> 成は、 くりが大切と思う。安全ブレーキ取り付け 肢を増やす意味では、地域で支え合う地域づ 会の中で研究を進めている。移動手段の選択 国の動向を注視し検討する。

通学路の危険箇所点検と対策は。

 \mathbf{Q}

ر د ۲ である。 ついては、 ード整備が必要な7箇所中の4箇所に 令和3年度の危険箇所は8箇所。 残る3箇所は計画的に対策を進めて 令和4年度中に対策を講じる予定 うち、

を感じる場所の調査は、 歩行者(特に障がい 者 が不便や危険

 \mathbf{Q}

どにより、 いないが、 質問場所の点検や調査は特に実施 その都度必要な対応をしている。 職員や村民からの情報提供な して



福 祉 バ ス

議会改革本格始動!!

本定例会において、議会改革推進検討特別委員会を設置しました。全議員で構成し、新居禎三副議長を委員長に選任しました。副委員長は、小林幸司議員、春日仁議員の2名体制です。 委員会設置に先立ち、9月1日に早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏をお招きして「議員のなり手不足は解消するか?」と題した講演を聴講しました。 (百瀬 章)



第1回議会改革推進検討委員会



講師の話に熱心に耳を傾ける

3年ぶりの総合防災訓練が実施された

9月4日、3年ぶりに防災訓練が再開され、なんとなく真新しく新鮮に感じました。もっとも、参加者は区長・評議員・連絡長など限られた人、内容も安否確認・備蓄倉庫の点検という物足りないものではありましたが、感染予防対策を取り入れた防災訓練と地域コミュニティの大切さを再確認したことと思います。 (小出 敏裕)



地域避難所での安否確認報告



猫も参加した連絡班の訓練



9月



待望のマンホールトイレ (トレセン体育館 東口)

4 日

議会広報編集特別委員会

7月

村庁舎での防災訓練

8 日 20 日 15 14 12 日 日 日 6 日 1 日 日 日 議会広報編集特別委員会 令和4年第3回山形村議会定例会閉 福祉文教常任委員会 令和4年第3回山形村議会定例会開会 山形村総合防災訓練 総務産業常任委員会 議会全員協議会(決算説明 議会全員協議会 議会改革講演会 第1回議会改革推進検討委員会 議会全員協議会 般質問

 21日
 令和4年第3回山形村議会臨時会

 13日
 議会広報編集特別委員会

 14日
 総務産業常任委員会

 議会運営委員会
 松本市長野県町村議会研修会 松本市長野県町村議会研修会 松本市福祉文教常任委員会



0 私

山形 で働い て感じたこと 池 咲 輝(総務課)



年が経ちました。この3 拡大やDX推進など様々 年という短い間に、 コロナウイルス感染症の 山形村で働き始めて3

ました。 うに頑張ろうと強く思いました。また、 の皆さまも温かくて居心地の良い村だと感じ 村は自然が豊かで、特産物なども多く、 な視点から物事を考えられる職員になれるよ ながら仕事をする職員の姿を見て、 な出来事がありました。その中で試行錯誤し 私も色々 村民 山形

ることを考えて仕事に励んでいきたいと思い 推測されていますが、その中でも自分ができ な課題が深刻化していく時代になっていくと これから更に人口減少や高齢化など、様々

対 話 初

雄

大

(税務課)



ることは、住民の皆さま た。そんな中で感じてい な業務に就いてきまし 4ケ所に配属され、 山形村に勤めこれまで 様々

との対話の大切さです。

がります。 学びました。そして対話は、 話をすることで築ける信頼関係があることを 様々なお話をしてきました。そこで私は、 織の事務局として4年間携わりました。その ら地域での困り事、時には身近な世間話まで 会が多々あり、村の体制についてのご意見か 住民の方々が役員となり構成されている組 住民の方々と直接話をさせていただく機 事業の結果に繋 対

必須だと考えます。 係を築くための新たな手段を開拓することは 直接会話をする機会が少なくなっています。 住民の方々の想いを知るための手段や信頼関 今日の新型コロナウイルスの蔓延により、

清水高原に咲

「対話をすることの

過去の経験で得た

たいと思います。 日々の業務に邁進し 大切さ」を胸に、

フクオウソウ

このような状況が続けば、区ごとの実施も検 討しなければいけないと思います。 となりました。3年連続の中止です。来年も は、新型コロナウイルスの影響で今年も中止 大勢のお年寄りが楽しみにしていた敬老会

より中止となり、 員大会・9月の東筑議員交流会がコロナ禍に に思います。 山形村議会も8月に予定されていた東筑議 議会活動に支障があり残念 (竹野入恒夫)

訂正とお詫び

紙面にてお詫び申し上げます。 令和4年と令和3年の間違いでした。 4年と4ページ目、報告の平成3年は、 議会だより第14号1ページ目、文頭の平成

発行責任者

章

議会広報編集特別

副委員長 員長 大池

百瀬 入恒夫 章

委

— 男